

# 歴史・史跡

小出地域は、史跡がたくさんあります。  
史跡巡りをしてみませんか。



## ④ 建彦神社

明治四十三年に諏訪神社（堤）、金山神社（行谷）、下寺尾諏訪神社が合祀され、建彦神社となった。



## ⑤ 七堂伽藍跡碑

小出川と駒寄川が合流する手前の台地の下に「七堂伽藍跡」と刻まれた石碑が立っています。この碑は下寺尾の地に大寺院が存在したことを信じた有志が、将来遺跡が明らかにされ、保存されることを願って、昭和32年に建立しました。



## 相州小出 七福神

茅ヶ崎の北部丘陵地のほぼ全域を巡るコース  
善谷寺（福祿寿）、蓮妙寺（弁財天）、来迎寺（恵比寿神）、宝蔵寺（大黒天）、白峰寺（寿老人）、正覚院（布袋尊）、妙伝寺（毘沙門天）

### ① 浄見寺

浄見寺は大岡家代々の菩提寺で、山門左の一段高いところに並ぶ一族13代の墓所は市指定の史跡となっています。



### ② 腰掛神社

社名は日本武尊（やまとたけるのみこと）が東征の際に、この地で石に腰を掛けたことに由来しています。



### ③ 下寺尾官衙遺跡群

小出川を望む標高約13mの相模原台地頂部に位置する相模国高座郡家（郡衙）と考えられる下寺尾官衙遺跡と台地の南裾に位置する下寺尾廃寺跡（七堂伽藍跡）からなります。平成27年3月に国の史跡に指定されています。

## 下寺尾官衙遺跡群遠景

(2005年3月撮影の航空写真・南東から)

